

レントゲンをうまく利用するには

1. 正常を知る 三つの軸
2. それぞれの疾患で異常所見はどこに出てくるのか
3. 他の臨床所見との統合（事前確率、呼吸音、採血など）
4. 然るべきときに撮る。侵襲低めでスクリーニング的役割。ポータブルか、立位か
5. 限界（自分の、レントゲン自体の）を知る。CTや他のモダリティのタイミング。